

第20回
世界バラ会議
福山大会
2025

WFRS 20th
WORLD ROSE CONVENTION
2025 in FUKUYAMA

公式記録

世界バラ会議福山大会実行委員会



01	大会概要	
	世界バラ会連合役員紹介	03
	実行組織紹介	04-05
	開催概要	06-07
	スケジュール	08-09
02	大会の記憶	
	Rose Expo FUKUYAMA 2025 関連行事	10-13
	歓迎レセプション	14-15
	開会式	16-19
	寛仁親王妃信子殿下 お成り	20-21
	歓迎昼食会	22
	ガイドウォーク	23
	講義	24-25
	大会会場を彩る	26
	ドイツツアー	27-31
	Fukuyama Street Dining	32
	フレンズディナー	33
	閉会式・フェアウェルディナー	34-35
	プレ・ポストツアー	36-41
	まちを彩る装飾	42-43
	第58回福山ばら祭2025 関連行事	44
	ばらのまち福山国際音楽祭2025 関連行事	45
	第34回ばら制定都市会議(ばらサミットin福山) 関連行事	46-47
03	コンテスト記録	
	ばらのまち福山 まちを彩るばらの新品種国際コンテスト	48-51
	福山ばら祭2025 切りばらコンテスト	52
	チャレンジ! ばらの新品種コンテスト	52
	世界バラ会議福山大会国際ばらコンテスト	53
04	みんなで創る大会	
	カウントダウンイベント	54-55
	市民・企業提案型事業	56-61
	世界バラ会議福山大会 応援宣言	62
	世界バラ会議福山大会及びRose Expo FUKUYAMAロゴ	63
	Rose&Peace教育とSchool Rose Garden Project	64-65
05	未来へ咲かせるばらのまちづくり	
	先人たちから受け継がれてきたばらのまちを未来へ	66-69
06	資料編	
	福山大会開催までのあゆみ	70-71
	福山大会に向けた計画の策定	72
	福山大会参加登録・参加者数	73
	ボランティア	74
	オプションプログラム	75
	各プログラム会場図	76-77
	食事メニュー	78-79
	Rose Expo会場図	80
	大会応援ソング	81
	PR活動	82-85
	PR実績	86-88
	福山大会・Rose Expoを支えてくださった皆様	89-91
	福山大会に向けた植栽整備	92-93
	福山大会に向けた都市環境整備3か年集中対策	94-96
	政府・省庁等との連携	97
	世界バラ会議福山大会実行委員会規約	98

編集後記

世界バラ会連合役員紹介



世界バラ会連合会長

Diane vom Berg



ご挨拶

大会参加者が福山市に到着したとき、まちのあらゆる場所—通り沿いや駅、建物の外、そして公園—に咲き誇るばらの圧倒的な美しさに迎えていただきました。

福山市の市民やボランティアの皆様が「ばら」という花、そしてばらが私たちの人生にもたらしてくれるものを、心から受け入れてくださっている様子は、素晴らしい光景でした。

ばらは喜び、平和、愛、そして友情をもたらします。それは、第20回世界バラ会議福山大会のプログラムでも、そしてまちの様子でも、はっきりと感じられました。

福山市では子どもたちが小学校入学時に一人ひとりばらを受け取り、そのばらが象徴する平和について学ぶという取組が行われていることは、我々にとって大きな学びとなりました。

そして、到着した瞬間から皆様が私たちを温かく迎えてくださったことに、心から感謝申し上げます。歓迎レセプションは非常に楽しく、大会参加者が皆様の文化や伝統の理解を深める機会となりました。思い出に残る開会式、そして壮大な閉会式・フェアウェルディナーは、いずれも感動的でした。プレ・ポストツアー、講義、交流会、午後に行われたドイツツアー、そして広島への終日ツアーも全て素晴らしく、主催者の皆様の尽力の賜物です。

福山大会の成功は、福山市、日本ばら会、そして世界バラ会連合との長年にわたる連携と努力の集大成にほかなりません。この間、皆様と共に関わることができたことを嬉しく思っており、いつも前向き且つ柔軟に対応してくださったことに、改めて感謝いたします。

将来また日本を訪れ、皆様の庭園と文化を楽しめることを願っております。

この度は、福山市での素晴らしい大会と、その後の日本各地でのツアーを本当にありがとうございました。

ばらもたらす平和が、今後も福山市を包み続けますように。

心からの敬意を込めて。

世界バラ会連合(WFRS)役員



名誉会長

Helga Brichet

直前会長
大会開催委員会委員長

Henriette de Briey



事務局長

Derek Lawrence



会計

Sushil Prakash

実行組織紹介

世界バラ会議福山大会実行委員会



大会名誉総裁
寛仁親王妃信子殿下



大会名誉会長
公益財団法人日本ばら会
会長
麻生 太郎

大会特別顧問



観光庁長官
萩川 直也



農林水産省 農産局長
松尾 浩則



国土交通省 都市局長
内田 欽也



外務省 大臣官房
国際文化交流審議官
岡野 結城子



経済産業省
政策立案総括審議官 兼
首席国際博覧会統括調整官
茂木 正



広島県知事
湯崎 英彦



公益社団法人 2025年
日本国際博覧会協会 理事
兼 副事務総長
高科 淳



公益社団法人 2027年
国際園芸博覧会協会
事務総長
河村 正人



大会顧問
千葉県立中央博物館
展示課長
御巫 由紀



大会アンバサダー
ニコライ・バーグマン

ご挨拶

福山市は、「ばらのまち」として市民の皆様が一丸となってばらを育てる活動に取り組んでいるまちです。世界中を見渡しても、これほどまでに街じゅうにばらがあふれている都市は他にありません。

世界各地からお越しの皆様とこの素晴らしいまちで交流を深め、未来に向けた友情を築き上げることができました。

福山大会の開催にあたり御支援・御協力をいただいた多くの関係者の皆様に、深く感謝を申し上げます。



会長
公益財団法人日本ばら会
理事長
志村 雪子



委員長
福山市長
枝広 直幹



副委員長
福山市議会 議長
今岡 芳徳



副委員長
福山商工会議所 会頭
小丸 成洋

委員

- 広島県 商工労働局長兼産業政策審議官 梅田 泰生
- 西日本旅客鉄道株式会社広島支社 理事 広島支社長 広岡 研二
- 一般社団法人広島県観光連盟 会長 佐々木 茂喜
- 福山ばら会 会長 石井 稔
- 福山ローザリアンクラブ 会長 井之上 博明
- ばらオーナー会 会長 甲斐 高嶺
- ばらグッズふくやまフレンズ 副会長 正田 洋子
- 一般社団法人福山青年会議所 理事長 柿原 圭介
- 公益社団法人福山観光コンベンション協会 会長 西 正尚
- 福山市教育委員会 教育長 小林 巧平
- 福山市自治会連合会 会長 大原 博
- 福山明るいまちづくり協議会 会長 廣田 要

※役職は当時、敬称略

開催概要



World Federation of Rose Societies

大会名称 第20回世界バラ会議福山大会2025

テーマ Roses for the Future ～福山からはじまる、新しい未来～

コンセプト みんなで創る みんなで盛り上げる みんなで輝く

開催期間 福山大会 ▶ 2025.5.18(日) - 2025.5.24(土)

プレッシャー ▶ 2025.5.12(月) - 2025.5.17(土)

ポストツアー ▶ 2025.5.25(日) - 2025.5.30(金)

◆これまでの世界大会開催地

第1回	1971年		ハミルトン大会	[ニュージーランド]
第2回	1974年		シカゴ大会	[米国]
第3回	1976年		オックスフォード大会	[英国]
第4回	1979年		プレトリア大会	[南アフリカ共和国]
第5回	1981年		テルアビブ大会	[イスラエル]
第6回	1983年		バーデンバーデン大会	[ドイツ]
第7回	1985年		トロント大会	[カナダ]
第8回	1988年		シドニー大会	[オーストラリア]
第9回	1991年		ベルファスト大会	[英国]
第10回	1994年		クライストチャーチ大会	[ニュージーランド]
第11回	1997年		ベネルクス3国大会	[ベルギー、オランダ、ルクセンブルク]
第12回	2000年		ヒューストン大会	[米国]
第13回	2003年		グラスゴー大会	[英国]
第14回	2006年		大阪大会	[日本]
第15回	2009年		バンクーバー大会	[カナダ]
第16回	2012年		サントン大会	[南アフリカ共和国]
第17回	2015年		リヨン大会	[フランス]
第18回	2018年		コペンハーゲン大会	[デンマーク]
第19回	2022年		アデレード大会	[オーストラリア]
第20回	2025年		福山大会	[日本]

世界バラ会議

世界バラ会議世界大会は、3年に1度開催する世界バラ会連合最大の大会です。世界各国から研究者、生産者、愛好家、芸術家など関係者が一堂に会し、ばらについての知識の啓発と普及、研究の促進、分類やコンテストの審査基準の提示・標準化などが議論されます。また、世界のばら愛好家の相互親善や情報交換、優秀庭園賞の決定、栄誉の殿堂入りのばらの絵画披露なども行われる、ばらの世界に絶大な影響力を与える権威ある大会です。



第18回世界バラ会議デンマーク・コペンハーゲン大会(2018年)において、戦後から続くばらのまちづくりや“ローズマインド”を大切に育んできた取組が認められ、第20回となる節目の大会を福山市で開催することが決定しました。

100万本のばらのまち福山の歴史

戦後復興期の1950年代半ば、「花を植えよう。荒廃したまちに潤いを与え、人々の心に和らぎを取り戻そう。」との思いから、現在のばら公園付近の住民が約1,000本のばら苗を植えたことから「ばらのまちづくり」が始まりました。



1960年代のばら公園

それから約70年の間に「花は美しい、それを愛し育てる人の心はなお美しい」を合言葉に、市内の至る所に小さなばら花壇が造られ、ばらを通じたまちづくりが進められてきました。そして、2016年には「100万本のばらのまち」を実現しました。

ローズマインド

ばらのまちづくりの歩みのなかから誕生した言葉です。「思いやり・優しさ・助け合いの心」を表しており、平和、ばら栽培に必要な愛情、人への優しさなど様々な想いが込められています。

2015年9月18日には「福山市ばらのまち条例」が制定されました。この中で、市民と行政が一体となってばらのまちづくりを進め、平和の尊さや心の豊かさが実感できる活力ある福山を実現することとしています。また、ローズマインドを福山の文化として根付かせ、世界に誇るばらのまち福山をめざすこととしています。

会場配置

福山大会は福山市初となる本格的な国際会議です。そして、福山市が推進するエリアMICEの初めてのケースでもあります。福山ニューキャッスルホテルをメイン会場としながらも、福山城や商店街など福山ならではの特色を生かした場所(ユニークベニュー)でプログラムを実施しました。



- 1 アイネスフクヤマセンタープラザ 2 ひさまつどおり北ポケットパーク 3 宮通り元町トライアングル広場
4 JOYふなまち 5 福山本通商店街とおり町交流館

◆ スケジュール | … 世界バラ会議プログラム | … 世界バラ会連合各種委員会・会議

2025.5.12(月)～5.17(土)

プレツアー① | 世界遺産宮島のヤマイバラと瀬戸内・山陰周遊ツアー

プレツアー② | 球磨川流域のツクシイバラ群生地と九州周遊ツアー

プレツアー③ | 大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭、関西・四国のばら園周遊ツアー

2025.5.18(日) Day 1

18:30 - 21:00 | 歓迎レセプション [福山城公園プロムナード]

オープニングアトラクション(ローラちゃんとローラちゃん応援隊ばらキッズダンス)
福山市長 歓迎挨拶
鏡開き
文化体験(二上りおどり、福山城ナイトツアー、ティーセレモニー)

8:30 - 11:30 | 世界バラ会連合 理事会①

14:50 - 16:50 | 世界バラ会連合 出版委員会

17:00 - 18:15 | 世界バラ会連合 広報委員会

2025.5.19(月) Day 2

9:30 - 11:30 | 開会式 [ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ)]

オープニングパフォーマンス(備後蔵王太鼓・鼓童・銀河学院箏曲部)
日本国歌演奏
大会実行委員会会長 歓迎挨拶
大会名誉総裁 寛仁親王妃信子殿下 お言葉
広島県知事 歓迎挨拶
出席国紹介
開会宣言
殿堂入りばら発表
手島葵さんによる歓迎コンサート

12:00 - 13:30 | 歓迎昼食会 [緑町公園]

13:30 - 17:00 | ガイドウォーク [緑町公園 ~ Rose Expo会場 ~ 花園公園 ~ ばら公園 ~ JR福山駅前]

14:00 - 16:00 | 世界バラ会連合 ヘリテージローズ 保存委員会

16:00 - 18:00 | 世界バラ会連合 各賞(表彰)委員会

19:00 - 22:00 | 世界バラ会連合 大会開催委員会

2025.5.20(火) Day 3

8:30 - 12:00 | 講義 [福山ニューキャッスルホテル 3F <光耀の間>]

12:00 - 12:20 | プレゼンテーション(ジュリーク)

12:20 - 18:00 | デイツアー A~D

18:00 - 20:00 | 世界バラ会連合 国際審査委員会

20:15 - 22:15 | 世界バラ会連合 国際ばらコンテスト委員会/ブリーダーズクラブ/分類・登録委員会

2025.5.21(水) Day 4

8:30 - 12:00 | 講義 [福山ニューキャッスルホテル 3F <光耀の間>]

12:00 - 12:20 | 国際ヘリテージローズ会議 中国南陽大会2026プレゼンテーション [福山ニューキャッスルホテル 3F <光耀の間>]

12:20 - 18:00 | デイツアー A~D

17:00 - 21:00 | Fukuyama Street Dining [福山市中心部商店街]

2025.5.22(木) Day 5

8:30 - 18:00 | デイツアー E

19:00 - 21:30 | フレンズディナー [ホテル鶴風亭 2F <七島>]

2025.5.23(金) Day 6

8:30 - 12:00 | 講義 [福山ニューキャッスルホテル 3F <光耀の間>]

12:20 - 18:00 | デイツアー A~D

19:00 - 22:00 | 世界バラ会連合 評議委員会

2025.5.24(土) Day 7

8:30 - 12:15 | 講義 [福山ニューキャッスルホテル 3F <光耀の間>]

12:15 - 12:45 | 第21回世界バラ会議インド・ポーパール大会2028プレゼンテーション [福山ニューキャッスルホテル 3F <光耀の間>]

12:45 - 14:30 | こどもたちとの交流 [福山ニューキャッスルホテル 2Fロビー]

18:00 - 22:00 | 閉会式・フェアウェルディナー [福山ニューキャッスルホテル 3F <光耀の間>]

オープニングアクト(喜多流大島能楽堂による能の披露)
大会ボランティア表彰・世界バラ会連合 優秀庭園賞・優秀書籍賞 表彰
世界バラ会連合役員挨拶
世界バラ会連合メダル授与
世界バラ会連合旗引継ぎ(スウェーデン~中国、日本~インド)

14:00 - 16:00 | 世界バラ会連合 理事会②

2025.5.25(日)～5.30(金)

ポストツアー① | 古都京都巡りと滋賀・岐阜のばら園周遊ツアー

ポストツアー② | 越後・北関東のばら園周遊ツアー

ポストツアー③ | 世界バラ会連合優秀庭園賞ばら園周遊ツアー

◆ 関連行事

2025.5.17(土)～5.18(日) | 10:00 - 17:00 (緑町公園ぶちうま広場は20:00まで)

第58回福山ばら祭2025 [JR福山駅周辺・中心部商店街・中央公園・ばら公園・花園公園・緑町公園]

2025.5.17(土)～5.19(月) | 10:00 - 20:00 (5.19(月)は17:00まで)

Rose Expo FUKUYAMA 2025 [福山通運ローズアリーナ]

2025.5.18(日)～5.19(月)

第34回ばら制定都市会議(ばらサミットin福山) [ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ)ほか]

2025.5.22(木)～5.25(日)

ばらのまち福山国際音楽祭2025

[ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ)・神辺文化会館・沼隈サンパル・西部市民センター・新市交流館・ふくやま美術館]

Rose Expo FUKUYAMA 2025 関連行事

2025.5.17(土)～5.19(月)
10:00 - 20:00(5.19(月)は17:00まで)
福山通運ローズアリーナ

ばらの祭典「Rose Expo」に市民や全国各地のばらファン約21,000人が来場しました。
「ばらの世界を旅する」をテーマに、福山のばらのまちづくりの歴史やばらの持つ多彩な魅力で、多くの人を魅了しました。



◆ 入場チケット 2024.10.17(木)～販売

一般 1,500円 福山市民割引 1,000円
※高校生以下、障がいのある方は無料
障がいのある方と同行される介護者は1人まで無料

- オンライン販売
Webket、チケットぴあ、ファミリーマート、ローチケ、楽天チケット
- 窓口販売
福山駅観光案内所、JTB福山ゆめタウン店、JTB福山天満屋店(4階)

ばらの展示

ばらの楽しみ方は多様であり、福山市で昔から親しまれている切りばらや盆栽の展示のほか、絵画やハンギングバスケットなどの新たなばらの楽しみ方が提案されました。また、福山市内のばら花壇の紹介展示やばらに関する小中学生の学習成果の掲示を来場者が興味深く見学していました。



国内外のばらの新品種が勢ぞろい



市民の皆さんから寄せられたばらの鉢を展示

日本ばら会の協力により、寛仁親王妃信子殿下の御愛培花とばらのウィーピングスタンダードを展示



◆ ばらの絵画展

- 山田 道恵 (ボタニカルアーティスト、植物画家)
- 小出 麻由美 (画家)
- 蛭川 有紀 (画家、女優)
- 小山 静陽 (日本画家)
- 夢ら丘 実果 (画家・絵本作家)
- 流郷 由紀子 (絵陶 染 artist)
- 潮 嘉子 (日本画家)
- 東山 翼也 (版画家)



ハンギングバスケットや生け花、ばらの盆栽など、多彩な展示でばらの魅力を披露



ローズマルシェ

新品種のばらの苗木や園芸用品、ばらに関するグッズなど、74ブースでばらのある暮らしを提案する多様なアイテムを販売し、来場者は思い思いに買い求めていました。



ここでしか買えないばらを求める大勢の人



ばらのガーデニングの相談に乗りながら園芸用品を販売



市民・企業提案型事業で生まれた新商品も販売



ローズカフェではばらの菓子やドリンクが人気



子どもも楽しめるゲームやワークショップも出展



屋外エリアに15ブース、屋内エリアに59ブースが出展



会場2階では、福山ばら祭恒例の切りばらコンテストに加え、School Rose Garden Projectの展示、ばらの写生大会受賞作品の展示、福山市内約400のばら花壇を紹介する写真展を開催。福山のばらの魅力を存分に伝えることができました





ガーデン展示

エントランスガーデン、大使・大使夫人のローズガーデンなど、表現豊かなガーデンがアリーナ内に出現。市民が育てたばらも展示に使われ、華を添えました。

◆ デザイナーズローズガーデン

会場エントランスでは、曾我部翔さんによる巨大な「ばらのフラワーアレンジメント」や、辻井ミカさんデザインのばらの生け花「御所車」、目の前を覆いつくすような大野耕生さんデザインの「ばらの壁」が来場者を圧倒しました。



◆ 大使・大使夫人のローズガーデン
6か国の駐日大使・大使夫人が故郷をイメージしたガーデン展示が登場。当日は、リトアニア大使ご家族、ギリシャ大使夫妻、オランダ大使夫人が来場されました。



イベント

会場中央のステージで行われた著名人によるトークショーやフラワーパフォーマンスに満員の観客が熱視線を送りました。「TOKYO GIRLS COLLECTION」プロデュースのステージに会場が盛り上がりを見せたほか、「ブルーウェディング」や子どもたちによる発表など福山ならではの催事が観客を惹き付けました。

	5.17(土)	5.18(日)	5.19(月)
10:00		オープニング太鼓演奏(一ツ橋中学校)	
11:00	サヘル・ローズ Rose Expo オープニングステージ 曾我部翔・辻井ミカ デザイナーズトーク	小山内 健 バラ栽培の秘訣	河本 麻記子 暮らしで楽しむバラ
12:00	ブルーウェディング① ばらの活動発表(鳳中学校)	浦辺 琴子 食香バラ(ロサマイカイ)	木村 卓功 ブルーローズへの挑戦
13:00	村雨 辰剛 私と庭づくり	三上 真史 バラのガーデニング	久富 泰資 福山バラの酵母プロジェクト
14:00	後藤 みどり バラのある豊かな暮らし	上田 泰 多肉を楽しもう	松尾 祐樹 バラの楽しい育て方
15:00	ニコライ・バーグマン フラワーデモンストレーション	曾我部 翔 フラワーパフォーマンス	大野 耕生 デザイナーズローズガーデン
16:00	ブルーウェディング②	ブルーウェディング③ ばらの活動発表(蔵王小学校)	
17:00		元木 はるみ ばらのテーブルコーディネート	
18:00	Fukuyama Rose Runway produced by TGC	ローズガーデンガイド	
19:00	ジャズ演奏	ジャズ演奏	
20:00			

◆ トークショー&フラワーパフォーマンス



サヘル・ローズさん



木村 卓功さん



曾我部翔さん/三上 真史さん/上田 泰さん



世界バラ会議福山大会アンバサダー
ニコライ・バーグマンさん



松尾 祐樹さん



ジャズ演奏

◆ 子どもたちの発表



◆ Fukuyama Rose Runway produced by TGC

TOKYO GIRLS COLLECTIONプロデュースのファッションショーでは、タレントの柏木由紀さん、村重杏奈さんらがばらのランウェイをウォーキングし、ばらのまち福山の魅力をPRしました。



◆ ブルーウェディング

公募・抽選によって選ばれた3組のカップルがデニムのスーツ・ドレスを身にまとい登場したブルーウェディングでは、会場が祝福のムードで包まれ、心温まる企画となりました。衣装は福山市内10社の企業が共同で制作しました。





◆ ステージプログラム

鏡開きには、世界バラ会連合、日本ばら会、関係省庁、広島県、ばら制定都市会議、地元ばら愛好団体の代表者が登壇。福山ばら会 石井 稔会長が乾杯の音頭をとりました



オープニングアトラクションとして、ローラちゃん応援隊ばらキッズが、福山大会のために作った曲に乗せてダンスパフォーマンスを行いました。大会参加者はみな目を細めていました



二上りおどりの体験では大会参加者に法被をプレゼント。お手本を見ながら一緒に踊り、心が一つになりました



日本酒のまち東広島市から、地酒の飲み比べコーナーも出展しました



ばらのまち福山国際音楽祭からジャパン・アカデミー・アンサンブル・ソロイストが登場。弦楽の調べが歓迎の夕べを彩りました



◆ 歓迎レセプション

2025.5.18 (日) / 18:30 - 21:00
福山城公園プロムナード

福山市のランドマーク・福山城を望む屋外の特設会場で、大会参加者やばら制定都市会議、花と緑の首長会の自治体関係者、福山のばら愛好団体など約500人が「ばら」を通じた交流の輪を広げました。

福山大会のスタートを飾る本プログラムは、オープニングアトラクションの後、福山市長の歓迎挨拶で開会しました。そして、鏡開きによる乾杯でこれから始まる一週間への期待感を高めました。

福山の伝統芸能「二上りおどり」の披露・体験やばらのまち福山国際音楽祭出演アーティストによる演奏等、趣向を凝らした体験行事も行われました。

国内外のばら愛する人々の親交が深まる一夜となりました。



ばら酵母を使ったワインや日本酒、ドーナツなど福山ならではの「ばらグルメ」を提供



ボランティアによる誘導案内や子どもたちによるお菓子のプレゼントなどでおもてなし



◆ 体験行事



福山城へのナイトツアーやふくやま美術館のばらの絵画展や国宝の刀剣の鑑賞、茶道体験など、日本・福山の文化を体験しました



ふくやま美術館茶室では、表千家同門会により伝統的なお茶席の体験や抹茶・茶菓子の提供が行われました。歓迎レセプションの前には、上田宗簡流により福寿会館で市民茶会も開催されました

福山城へのナイトツアーでは、ボランティアの案内により天守北側鉄板張りや館内を見学し、天守から福山市街の夜景を楽しみました





◆ 開会式

2025.5.19(月) / 9:30 - 11:30
 ふくやま芸術文化ホール (リーデンローズ)

大会名誉総裁 寛仁親王妃信子殿下の御臨席の下、世界バラ会議が開幕しました。開会式には国内外からの大会参加者や県内・全国の自治体の首長・議長、そして800人を超える市民等が参加しました。

太鼓と箏による迫力あるパフォーマンスで参加者を歓迎した後、妃殿下からお言葉を賜り、福山大会の開会宣言、世界大会恒例の殿堂入りのばらの発表などが行われました。

出席国を事務局長が紹介する場面では、会場2階の小中学生が各国の国旗を掲げて「ウェルカム」の声をあげて歓迎し、それぞれの国の大会参加者がそれに応える心温まる催しとなりました。

さらに100万本のばらのまち福山応援大使・手島葵さんによる歓迎コンサートでは、その歌声に会場が魅了されました。



登壇者

大会名誉総裁 寛仁親王妃信子殿下

- 世界バラ会連合
- ・名誉会長：Helga Brichet
 - ・会長：Diane vom Berg
 - ・大会開催委員長：Henrienne de Brier
 - ・事務局長：Derek Lawrence
 - ・表彰委員長：Daniel Boulens

実行委員会

- ・特別顧問：萩川 直也(観光庁長官)
- ・特別顧問代理：佐藤 紳(農林水産省大臣官房生産振興審議官(兼農産局))
- ・特別顧問代理：鎌原 宜文(国土交通省大臣官房審議官(都市生活環境・国際園芸博覧会))
- ・特別顧問代理：鈴木 律子(外務省文化交流・海外広報課長)
- ・特別顧問：茂木 正(経済産業省政策立案総括審議官 兼 首席国際博覧会統括調整官)
- ・特別顧問：湯崎 英彦(広島県知事)
- ・特別顧問：高科 淳((公社)2025年日本国際博覧会協会理事兼事務総長)
- ・特別顧問：河村 正人((公社)2027年国際園芸博覧会協会事務総長)
- ・会長：志村 雪子(日本ばら会理事長)
- ・委員長：枝広 直幹(福山市長)
- ・副委員長：今岡 芳徳(福山市議会議員)
- ・副委員長：小丸 成洋(福山商工会議所会頭)



Diane vom Berg 会長による開会宣言



◆ 殿堂入りばらの発表



オールドローズ
 ブラッシュ・ノアゼット
 Philippe Noisette
 1814年、米国

モダンローズ
 ガートルード・ジェキル
 David Austin
 1986年、英国



◆ オープニングパフォーマンス『薔薇響』

近畿大学附属広島高等学校福山校1年生の岡田秀幸さんが、所属する備後蔵王太鼓や太鼓芸能集団 鼓童と共に、開会式のオープニングを飾りました。岡田さんが、2023年度の福山夢・未来開花プロジェクトに参加し、『世界バラ会議で鼓童と一緒に福山の曲を演奏したい』という夢を語ったことから、このステージが実現しました。

披露したのは彼が作曲した『薔薇響』。銀河学院箏曲部が福山市の伝統的工芸品・箏の音色で演奏に華を添えました。



岡田さんを中心に、大小さまざまな太鼓の音を勇壮に響かせました

◆ 手島葵さんによる歓迎コンサート

手島葵さんは、2017年から100万本のばらのまち福山応援大使を務めています。当日は、大会を盛り上げるために制作した大会応援ソング「Happy Rose」のほか、ばらにまつわる2曲をのびやかに歌い上げ、観客から惜しみない拍手が送られました。「ばらのまち福山」にふさわしい、華やかで心に残るひとときとなりました。



◆ 寛仁親王妃信子殿下 お言葉



It is my great pleasure to see that the 20th World Rose Convention in Fukuyama 2025 is being held successfully.

Today, breeders strive to create roses of ever greater beauty and fragrance throughout the world. Climbing roses, Hybrid tea roses, Floribundas, and Old Roses—each exhibits a unique and captivating charm.

When my grandfather, Shigeru Yoshida, was posted to France as an ambassador, there was a charming anecdote. At the entrance to his residence stood a single Jolie Madame rose. Upon noticing its fragrance, my mother in her childhood remarked, “C’est la Jolie Madame.” In response, Mr Anzai, my grandfather’s small and loyal butler, replied with a smile, “Et vous, Madame.”, meaning “Just like you, ma’am.” (“Jolie Madame” is a French word that means “lovely lady.”)

Indeed, there are countless stories roses.

My grandfather, who served as Prime Minister of Japan after the war, was deeply devoted to roses. He was the first president of the Japan Rose Society.

The rose he cherished most at the time was named ‘Peace’—a fragrant, large-flowered bloom of creamy hue. When he received a Peace rose, he was delighted beyond measure and nurtured it with great care. Given his deep appreciation for peace, it was a gift that truly touched his heart.

He tended many roses gifted from around the world with the utmost care in his garden.

In July 2003, I had the honour of being invited to the World Rose Convention in Glasgow. There, I was presented with a rose named Princess Nobuko, a splendid pink bloom. As a fellow rose lover, I have since been cultivating it with great care in my own rose garden.

At present, my elder brother serves as the president of the Japan Rose Society. I feel a deep sense of connection through the bonds that roses create.

Here in Fukuyama City, Hiroshima Prefecture, this convention’s host, roses had been planted as a symbol of hope and peace during the city’s post-war reconstruction. Since 2011, I understand that each child entering primary school is presented with a rose plant as a gesture of welcome.

I believe that this noble effort to pass on a love for flowers, greenery, and peace to the next generation is a model for community development both in Japan and around the world.

I hope the insights and advancements shared during this convention reach far and wide, and may they serve to promote the culture of rose planting and the spirit of peace throughout the world.

With this sincere wish, I conclude my remarks.

(日本語訳)

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が盛大に開催されておりますこと、心より嬉しくお喜びを申し上げます。

今日では世界中でより美しく、香り高い品種を作る試みが行われ、つるバラ・ハイブリッドティーローズ・フロリバンダローズ・オールドローズ等、多様な美しさを誇っております。

祖父である吉田茂が、かつて大使としてフランスに赴任しておりました時分、「ジョリー・マダム」が玄関に一輪ありました。その香りに気づいた幼き頃の母が「ジョリー・マダムね」と申しましたら、祖父の執事をしていた小さな安齋さんがフランス語で「エ・ヴー、マダム」、すなわち、「あなたの様にね」と答えた話も思い出しました。「ジョリー・マダム」は、フランス語で、「可愛らしい夫人」を意味することを受けてのことでございます。ばらにまつわる話は数多くあるものでございますね。

祖父は、財団法人日本ばら会の初代会長を務めるなど、人一倍ばら愛する人でした。

その当時大切にしていたばらは、香りの良いクリーム色の花輪の花卉を持っており、「ピース」と名付けられました。その「ピース」が贈られたとき、祖父はたいそう喜んで大切にしておりました。平和の有り難さを身にしみ感じていた祖父らしい喜びであったと存じます。祖父は各国から送られたばらを大切にばら園で育てておりました。

平成15年7月に英国グラスゴーで開催された世界バラ会議に招かれた際に、「プリンセス・ノブコ」と名付けられたピンクの花輪のばらをおいただきました。私自身もばら愛する一人として、宮邸のばら園で大切に育てております。

現在兄が公益財団法人日本ばら会の会長を務めており、ばらがつなぐ縁を深く感じております。

今大会の開催地である、ここ広島県福山市では、戦後の復興への希望と平和の象徴としてばらを植え、ばらとともにまちづくりを行ってきた歴史があり平成23年度から小学1年生の入学のお祝いとして、一人一鉢のばらを生徒さん達に贈る取り組みがあると同様です。花と緑、そして平和を愛する心を次の世代に大切に継承していく貴重な取り組みは、国内外でのまちづくりの基本になるものと存じます。世界中で行われている栽培技術の改善に向けた取組など、この大会を機に得られた知見が「平和」を愛する心とともに国内外へと広がり、ばらの植栽普及を啓発する活動が今後も維持、発展していかれますことを心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

◆ 世界バラ会連合 Diane vom Berg会長 開会宣言



Her Imperial Highness Princess Tomohito of Mikasa, Governor of Hiroshima Prefecture, Mr. Hidehiko Yuzaki, Mayor of Fukuyama, Mr. Naoki Edahiro, Members of the Executive Committee of the World Federation of Rose Societies, Chief Director of the Japan Rose Society, Ms. Yukiko Shimura, the Organizing Committee Members and Advisors, Conference Participants,

It is wonderful to welcome everyone attending today. I am looking forward to the coming days as we gather to enjoy our favourite flower, “The Rose”, and the friendship, joy, and peace it brings to all—especially here, in the beautiful City of Roses, Fukuyama.

We were saddened to hear of the passing of Kelvin Trimper on January 7, 2024. Kelvin was an esteemed colleague, mentor, and friend. He served the WFRS as Vice President, President, Chairman of the Promotions Committee, and most recently, Chairman of the Convention Committee. In 2018, Kelvin was awarded the World Federation of Rose Societies Gold Medal in recognition of his outstanding contributions to the Federation. Kelvin and Melanie attended many WFRS conventions, with Kelvin often participating as a lecturer. His presence will be sadly missed by rosarians around the world.

Kelvin and I visited Japan in October 2023 to assist the enthusiastic committee with preparations for this World Rose Convention. Kelvin was deeply dedicated to the rose and gave his time freely. We miss his knowledge, enthusiasm, and encouragement.

I would also like to acknowledge the passing of Mr. Viru Viraraghan from India, a long-time supporter of the World Federation of Rose Societies. Viru’s dedication to the rose is widely known throughout the global rose community. His breeding work has produced many outstanding new roses. Along with Girija, he lectured at rose events and most recently co-authored their book. We will miss his presence, but we can share our fond memories of Viru with others gathered here.

On behalf of the World Federation of Rose Societies, I thank our hosts—the Japan Rose Society and the City of Fukuyama. I also wish to recognise the organising committee members who have devoted many, many hours of their time to preparing an informative lecture program, the Rose Expo, exciting visits to places of interest and gardens, social functions, and pre- and post-convention tours for participants attending the 20th World Rose Convention, Roses for the Future – A New Future Begins in Fukuyama.

The World Federation is especially grateful to our global sponsor, FELCO. Their support of the Federation has helped us maintain our new website and has provided vital assistance to our hosts for recent conventions. Many member countries are actively promoting FELCO within their societies, and the Federation is truly thankful for their continued support. FELCO is a worldwide leader in the production of high-precision professional secateurs, pruning, and garden tools. The World Federation has recently dedicated a rose to FELCO—a beautiful red rose bred by Martin Visser. I was honoured to attend the naming ceremony, together with Henriette de Briey, Sushil Prakash, and Mireille Steil, in June 2024 at FELCO Headquarters.

We are also grateful for the continued support of our Friends of the Federation. Their contributions enable us to maintain the WFRS Scholarship Scheme, which allows a member country to nominate a candidate to attend a WFRS Convention. This year, we are pleased to welcome Miss Bak from South Korea to Fukuyama.

During the convention, we will receive updates on upcoming conventions over the next three years, and I strongly encourage you to consider attending these future events.

At this convention, a number of officers and chairpersons will be stepping down, having faithfully served the Federation during their terms of office.

I would like to acknowledge;

– Immediate Past President Henriette de Briey;

– Vice Presidents: Doug Grant (New Zealand), Diana Antonition (Bermuda), Inger Schierning (Denmark), Vijay Kant (India), and Shiwei Zhao (China);

– Officers: Executive Director Derek Lawrence, Editor of “World Rose News” Steve Jones (USA);

– Standing Committee Chairpersons: Conservation & Heritage – Behçet Cırgan; International Rose Trials – Marga Verwer; Promotions – Henriette de Briey; and Breeders’ Club – Jean-Luc Pasquier.

Please enjoy your time in Japan as you experience the culture and the roses of this wonderful country. I look forward to meeting delegates during the coming week. It now gives me great pleasure to officially open the 20th World Rose Convention. Thank you.

(日本語訳)

寛仁親王妃信子殿下、広島県知事 湯崎英彦様、福山市長 枝直幹様、世界バラ会連合理事の皆様、日本ばら会理事長 志村雪子様、世界バラ会議福山大会実行委員会の委員及び特別顧問の皆様、そしてご出席の皆様、本日ここにお集まりの皆様をお迎えられることを大変うれしく思います。これから数日間、私たちが愛する花「ばら」、そしてその花がもたらしてくれる友情、喜び、平和を分かち合えることを心から楽しみにしています。福山市はまさに「ばらのまち」にふさわしい美しい都市です。

2024年1月7日に、Kelvin Trimperさんが逝去されたという知らせを受け、私たちは深い悲しみに包まれました。Kelvinさんは尊敬を集める同僚であり、良き指導者であり、そして友人でもありました。彼は世界バラ会連合において、副会長、会長、広報委員長、そして直近では大会開催委員長として尽力されました。2018年には、その卓越した貢献が認められ、世界バラ会連合ゴールドメダルが授与されました。KelvinさんとMelanie夫人は数多くの世界大会や地域大会に参加されており、Kelvinさんは講師として登壇することも多くありました。彼は、世界中のばら愛好家にとって大きく惜しまれる存在でありました。

私とKelvinさんは、2023年10月に日本を訪れ、この世界バラ会議の準備に熱心に取り組んでおられる実行委員会を支援いたしました。Kelvinさんはばらに情熱を注ぎ、惜しみなく時間を捧げてくださいました。彼の知識、熱意、励ましが今、私たちにとても恋しく思われます。

また、長年にわたり世界バラ会連合を支えてくださった、インドのViru Viraraghanさんのご逝去についても、ここで言及したいと思います。Viruさんのばらへの献身は、ばら界において広く知られており、彼の育種によって数々の優れた新品種が生み出されました。Girija夫人とともに、多くのばらのイベントで講師として活躍し、最近ではご夫妻で著書も出版されました。彼の不在は寂しい限りですが、ここに集う皆様と共に、Viruさんとの思い出を分かち合いたいと思います。

世界バラ会連合を代表して、主催団体である日本ばら会と福山市の皆様、心より感謝申し上げます。また、実行委員会の皆様にも敬意を表します。皆様は多くの時間を費やして、充実した講義プログラム、Rose Expo、魅力的な名所やばら園への訪問、交流イベント、そしてプレ・ポストツアーを準備してくださいました。第20回世界バラ会議「Roses for the Future～福山からはじまる、新しい未来～」に参加される皆様のために、このような素晴らしい機会を提供してくださったことに感謝いたします。

世界バラ会連合は、グローバルスポンサーであるFELCO社に深く感謝しております。FELCO社の支援により、新しいウェブサイトの維持管理が可能となり、また近年の大会において主催者を支援することができました。多くの加盟国が自国の団体内でFELCO社の製品を積極的に紹介しており、連合としてもその広報活動に大変感謝しております。FELCO社は、高精度なプロ仕様の剪定ばさみ、剪定・園芸工具の製造において世界的なリーダーです。先日、世界バラ会連合からFELCO社にばらを贈呈いたしました。それは、Martin Visserさんが育種した、美しい赤いばらです。2024年6月、私は、Henriette de Brieyさん、Sushil Prakashさん、Mireille Steilさんと共に、FELCO本社で行われた命名式に出席するという光栄に与りました。

また、私たちの「フレンズ(友の会)」からの継続的な支援にも感謝いたします。そのご支援により、連合は引き続き奨学金制度を維持することができ、加盟国が大会に参加する候補者を推薦できるようになっています。本年は、韓国からの参加者、Bakさんをここ福山にお迎えしています。

福山大会中には、今後3年間に開催される大会についての最新情報が発表される予定です。ぜひ、これらのイベントへの参加をご検討いただければ幸いです。今回の大会では、任期を終えて退任される役員および委員長が複数いらっしゃいます。任期中、連合を支えてくださった皆様に感謝申し上げます。

直前会長であるHenriette de Brieyさん、副会長であるDoug Grantさん(ニュージーランド)、Diana Antonitionさん(バミューダ)、Inger Schierningさん(デンマーク)、Vijay Kantさん(インド)、Shiwei Zhaoさん(中国)、理事会メンバーである事務局長 Derek Lawrenceさん(英国)、「World Rose News」編集長 Steve Jonesさん(米国)、常設委員会委員長であるヘリテージローズ保存委員長 Behçet Cırganさん、国際ばらコンテスト委員長 Marga Verwerさん、広報委員長 Henriette de Brieyさん、ブリーダーズクラブ Jean-Luc Pasquierさん、国際ばらコンテスト委員長 Marga Verwerさん、広報委員長 Marga Verwerさん、広報委員長 Henriette de Brieyさん、ブリーダーズクラブ Jean-Luc Pasquierさん、以上の方々に敬意を表します。

日本での滞在をお楽しみいただき、この素晴らしい国の文化とばらを、ぜひご堪能ください。この一週間、皆様とお会いできることを楽しみにしております。

それでは、第20回世界バラ会議の開会を、ここに正式に宣言いたします。

ありがとうございました。



寛仁親王妃信子殿下 お成り

寛仁親王妃信子殿下は、5月19日にふくやま芸術文化ホール（リーデンローズ）で開催した第20回世界バラ会議福山大会2025開会式への御臨席、併せて地方事情御視察のため、5月18日から19日までの2日間、本市にお成りになりました。

開会式への御臨席ののち、ばら公園にて、妃殿下に捧げられたばら「プリンセス・ノブコ」をお手植えになられ、園内を御視察されました。

小学生からの歓迎の言葉やばらのお香の記念品をお喜びになり、笑顔でお言葉を交わされました。



南小学校の児童から妃殿下へ歓迎の言葉をお伝えしました



光小学校の児童が制作したばらのお香の記念品を贈呈しました



プリンセス・ノブコをお手植えになりました



プリンセス・ノブコ

妃殿下にちなみ命名されたばらで、美しいピンク色の花弁が特徴です



ばら公園大アーチ前での記念写真(小学生たちとともに)



◆ 歓迎昼食会

2025.5.19(月) / 12:00 - 13:30
緑町公園

開会式後、約500人が緑町公園に移動し、六角錘状のばら花壇・ローズヒルの満開のばらを囲んで食事を楽しみました。

ローズヒル頂上部では、ばらオーナー会がローズヒルの成り立ちやばらオーナー制度を紹介し、多くの大会参加者の関心を集めました。また、福山大会を記念して前日18日(日)に行われた国際ばらコンテストの表彰式では、大会参加者から受賞者へ温かい拍手が送られました。



世界バラ会連合審査特別賞の授与



解説する
ばらオーナー会
浦隅 俊明最高顧問



国際ばらコンテストには
135品の出品があり、14品が受賞

約540品種・7,500本の
満開のばらが参加者を魅了



◆ ガイドウォーク

2025.5.19(月) / 13:30 - 17:00
緑町公園～Rose Expo会場～花園公園～ばら公園～JR福山駅前

歓迎昼食会後に、Rose Expo会場や花園公園、ばら公園など約1.5kmのローズロードのばらの見どころを巡るガイドウォークを実施しました。

大会参加者は、ボランティア・認定ばらガイドの案内で、至るところにばらが咲く福山ならではの風景を楽しみながら、バナーフラッグや路面案内標示を目印に散策しました。



リニューアルしたばら公園の9つのテーマガーデンを認定ばらガイドが案内。大会参加者は、アーチやスタンダードローズ、宿根草が組み合わせられたデザイン豊かな公園の説明に熱心に聞き入っていました

◆ コンベンションバッグ

大会参加者には記念品として福山とばらの魅力を詰め込んだコンベンションバッグを配付しました。大会期間中、バッグを持ち歩く姿が見られるなど、大変好評でした。

バッグ

このバッグは剪定時に発生するばらの枝から制作されたものです。福山市内のばら園・地域ばら花壇では、綺麗な花を咲かせるために剪定を行っていますが、その多くが廃棄されていました。そこで、市内のデニム関連事業者が地域ばら花壇等に協力を呼びかけて枝を回収し、廃棄されるはずだったばらをアップサイクルしたデニム生地を開発しました。この生地を使用し、大会ロゴの刺繍を施して完成したバッグには、日本のデニム産地・福山の技術の粋が集まっています。

協力事業者 篠原テキスタイル株式会社(織布)、有限会社アルファ企画(大会ロゴ刺繍)、株式会社Rinnovation(剪定枝の素材化) ほか

内容

- 大会プログラム冊子 ● 写真集「福山物語」 ● クリアファイル
- 大会ロゴ入りボールペン ● 中国新聞(別刷り特集)
- 薔薇香るゼリー(福山市農業協同組合提供)
- ハンドクリーム(ジュリークインターナショナル提供)
- 寺岡醤油ミニボトル(寺岡有機醸造株式会社提供)
- 備前焼の折りばら(香神窯提供)
- ゆうちゃんとまほうのばら絵本(Rose FIG提供)
- しおり(広島県立福山特別支援学校提供)
- 県産間伐材コースター(広島県提供)
- 2022年世界バラ会連合優秀書籍賞受賞「野ばらハンドブック」(著者・御巫由紀提供)



Lecture 1 Dr. Yoshihiro Ueda



講義

2025.5.20(火)～5.24(土) / 8:30 - 12:00
福山ニューキャッスルホテル 3F <光輝の間>

「Roses for the Future」という大会テーマに沿って、各日に「アジアのバラ」「品種保存」「耐病性」「新たな技術」というサブテーマを設け、14の講義と育種家によるパネルディスカッションが行われました。

各国における取組やばらの事情を伝える講義には、福山市内でばら育成に取り組む方を含め多くの愛好家に参加し、熱心に質問し記録をとっていました。特にアジア・日本のばらやその歴史をテーマにした講義に興味を示していました。

THEME.1 アジアのバラ

5.20(火)



Lecture1

日本の育種家により
育成されたバラ
上田 善弘 博士



Lecture2

歴史的な日本画に
描かれたバラ
白砂 伸夫 博士



Lecture3

日本の野ばら、
ノイバラから始まる物語2
ランブラーローズ
御巫 由紀 博士



Lecture4

中国の野生バラと
オールドローズ
姜 正之

モデレーター: Helga Brichet(世界バラ会連合名誉会長) / 西尾 譲司 博士(日本ばら会常務理事)



THEME.2 品種保存

5.21(水)



Lecture5

未来につながるバラの
品種保存
Brigid &
Charles Quest-Ritson



Lecture6

Rosa persica 交雑種の英国
ナショナルコレクション
Daniel Myhill



Lecture7

カリフォルニアの
バラの歴史
Gregg Lowery



Lecture8

スウェーデンにおけるファウンドローズの
収集と品種保存
Svein Osen

モデレーター: Martin Stott(英国ばら会) / 御巫 由紀 博士(千葉県立中央博物館 展示課長)



THEME.3 耐病性

5.23(金)



Lecture9

ポーランドのバラ
新品種試作場と
イタリアのバラ
Dr. Maria Eva Giorgioni



Lecture10

バラを病気に強くするには
-品種改良と栽培との組み合わせ-
Hayden Foulds



Lecture11

耐病性育種:
科学的、実用的な
視点から
Dr. Thomas Debener



Lecture12

景観植栽のなかの
ローズロゼット病と
その対策
Dr. David H. Byrne

モデレーター: Steve Jones(世界バラ会連合編集長、元世界バラ会連合会長) / 中山 真義 博士(農研機構 野菜花き研究部門)



THEME.4 新たな技術

5.24(土)



Lecture13

バラの香りの系譜と
新たな香気成分
大久保 直美 博士



Lecture14

栽培バラに四季咲き性と
八重咲き性をもたらした
突然変異の起源
河村 耕史 博士

モデレーター: Diane vom Berg(世界バラ会連合会長) / 上田 善弘 博士(世界バラ会議推進プロジェクトマネージャー)



◆ パネルディスカッション

各国を代表する育種家5人が育種について語ったパネルディスカッションでは、写真を交えながら、未来のばらに関する議論に花を咲かせました。

モデレーター

Daniel Boulens

パネリスト

Doug Grant

木村 卓功

Ping Lim

Matthias Meiland

Martin Vissers



大会会場を彩る

メイン会場の福山ニューキャッスルホテルでは、より魅力的な空間となるよう、「ばら」や「福山」を感じることができる物販コーナーの設置やプログラムの提供、装飾などを行いました。

大会参加者は講義の合間などに各コーナーに立ち寄り、お土産の商品を買い求めたり、写真に収めたりしていました。



福山市園芸センター



ばらにちなんだ新商品やグッズの販売



書道 — 海外の名前を漢字で揮毫した色紙をプレゼント

折り鶴、自然の草花を用いた展示装飾



折り紙、折りばら体験コーナー

ばらがデザインされたスポンサーパネルで記念撮影



講義の合間のティーブレイクでの談笑

スポンサーブースでのPR

第21回世界バラ会議
インド・ポーパール大会PRコーナー

こどもたちとの交流

大会最終日の午後、福山市内の小中学校6校の児童・生徒が、手作りの折りばらやメッセージカードの贈呈、ばらのまちづくりに関する学習成果の発表を行うなど、大会参加者と交流しました。



ドイツ

2025.5.20(火)～5.23(金)

世界バラ会議の魅力のひとつは、「開催国ならではのばら」を見たり、その国の文化に触れるツアーです。福山大会では、半日または終日の日程で福山市内・広島県内のばらの名所や文化・平和関連施設を巡る5つのツアーを実施し、4日間で延べ1,170人が参加しました。福山のばらのまちづくりの取組などを紹介し、ツアー参加者からは、特にこどもたちとの関わりや広島・福山のばらと平和の強い結び付きに称賛の声が上がりました。

TOUR A 世羅高原

5.20(火) / 5.21(水) / 5.23(金)

花々に囲まれる魅惑の高原 世羅高原

◆その花畑 世羅高原花の森

中四国で初めて、イングリッシュローズをメインとして造られたガーデン。世羅高原で最も標高の高い海拔540mにあり、空へと繋がるような広大な傾斜地に、約150品種・7,000本以上のばらが咲き誇ります。

ツアー参加者は、世羅グルメの昼食を堪能した後、ガーデンデザインを手がけた平岡誠さんのガイドを受けながら、ゆったりとした午後の時間を過ごしました。



現地での昼食は、地元食材を使った世羅バーガーとワイン



ばらの咲き始めを迎えた世羅高原



TOUR B アンネのばら

5.20(火)/5.21(水)/5.23(金)

アンネとの出会い、
湖畔の愛情あふれる手作りばら園巡り

◆ ガーデン富谷

福山市北部の芦田町にある市内最大級の地域花壇。約2,000㎡の面積に約200品種・500本のばらを始めとする植物が咲き誇っています。当日は、庭園の維持管理を行う「ガーデン富谷友の会」のメンバーによるガイドや茶菓子でのおもてなしが行われ、地元の小学校や保育園のこどもたちもツアー参加者との交流を深めました。



湖畔の園路で人力車体験

福山発祥の備後耕で
手作りしたばらのコサージュ

ハイビスカスティーとお菓子の振る舞い



◆ ホロコースト記念館

アンネ・フランクさんの形見として捧げられたばらが植栽されている庭園や、世界約40か国から寄贈されたホロコーストに関する遺品や写真が展示されています。見学者が平和について深く考えるきっかけを与える施設です。

当日は、地元の中高生が館内展示やばら園を紹介しました。



TOUR C 新品種コンテスト

5.20(火)/5.21(水)/5.23(金)

新品種国際コンテストの投票に参加！
風光明媚でのどかなばら園巡りと市民交流

◆ ローズガーデンかなえ

福山市立金江小学校にある花壇。約60品種・350本のばらを児童と地域住民が管理・育成しています。児童と金江学区まちづくり推進委員会ばらチームのメンバーと一緒にばら園を案内すると、ツアー参加者はこどもがばらに携わる姿に感銘を受けていました。



学習の成果を発揮し、英語で花壇を紹介



児童からはポップとハーバリウム、まちづくり推進委員会からは折り鶴(連鶴)をプレゼント

21日(水)には、金江保育所の園児たちも
出迎えに参加しました

◆ 福山市園芸センター

山の傾斜を利用したばら園や瀬戸内海を眺望できる芝生広場が特徴の施設。ツアー参加者は良好な生育状況に感心しながら新品種国際コンテストの審査に一票を投じたり、同コンテスト応募苗の管理を担ったばらのまちづくり部会員や同センター職員と交流したりしました。

また、21日(水)には煎茶も振る舞われました。

お気に入りの応募苗に
一票を投じるツアー参加者

◆ 山陽自動車道福山サービスエリア(上り線)

約80品種・500本のばらが植栽されたばら園。福山ローザリアンクラブが園内を案内しました。サービスエリアを運営するサルボ両備株式会社による茶菓子の振る舞いや福山特別支援学校の生徒によるお出迎え・交流も行われました。



TOUR D 鞆の浦

5.20(火)/5.21(水)/5.23(金)

日本遺産の港町鞆の浦と新緑萌ゆる神勝寺

◆ 鞆の浦

江戸期まで潮待ちの港として栄え、現在も往時の姿を残す町並み。鞆の浦学園の児童生徒と鞆の浦しお待ちガイドが、町の歴史や見どころなどを説明しました。



昼食のサンドイッチを選んでツアーに出発



10人程度のグループに分かれて町並みを散策



ガイドを務めた鞆の浦学園の児童生徒に労いの拍手が送られました

◆ 神勝寺 禅と庭のミュージアム

広大な境内に点在する施設を散策しながら、“禅”とはなにかを感じてもらおう寺院。

ツアー参加者は思い思いに境内を散策し、日本庭園の見学や瞑想を通じて、心に残るひとときを過ごしました。



本堂にある展示館「荘厳堂」には、約200点の禅画・墨跡が展示されています



総門の前でボランティアから説明を受け、境内を自由に散策



アートパビリオン洗庭での瞑想体験や、伝統的な日本建築・庭園を見学



TOUR E 広島市

5.22(木)

平和と文化あふれる“水の都”広島

◆ 広島市植物公園

瀬戸内海を望む高台にある18.3haの広大な敷地内に、中四国最大級の大温室を始めとして、約1万品種・20万本の植物を栽培する多様な温室・庭園を擁する施設。中でもばら園にはモダンローズや世界の野生種など約700品種のばらが咲き誇っており、同園職員の説明を受けながら園内を散策しました。



昼食は世界パラ会議の特別な包装が施されたご当地グルメ・鯛めし弁当

◆ 広島市内 平和関連施設

広島市中心部に点在する平和関連施設を訪問。広島平和記念資料館を見学したほか、平和記念公園や原爆ドーム周辺を散策しました。その後、おりづるタワーから市街地を眺望し、戦後80年の節目に当たって世界の恒久平和に思いを馳せました。





◆ Fukuyama Street Dining

2025.5.21(水) / 17:00 - 21:00
福山市中心部商店街

「福山市ばらのまち条例」に「ばらに込められた想いや願いを伝え合う日」と定められている「ばらの日」。大会参加者と福山市民が交流する夜のイベントとして「Fukuyama Street Dining」を開催しました。当日はあいにくの雨でしたが、福山市中心部の5つの商店街による趣向を凝らした企画に、約2,000人の大会参加者・市民は大満足。希望者には浴衣の着付けサービスを行い、伝統芸能も披露されるなど、日本文化を感じながら国際交流を深める一日になりました。



◆ 各商店街企画内容

- ・福山本通商店街とおり町交流館/「ふくやまワインまつり」
- ・JOYふなまち/「伝統芸能。日本の歌とゲーム屋台ストリート」
- ・宮通り元町トライアングル広場/「日本酒を味わう屋台村」
- ・ひさまつどおり北ポケットパーク/「グルメ屋台」
- ・アイネスフクヤマセンタープラザ/「福山おもてなし交流会(伝統産業PR)」



◆ フレンズディナー

2025.5.22(木) / 19:00 - 21:30
ホテル鷗風亭 2F <七島>

世界バラ会連合 友の会のメンバーが交流を深めるフレンズディナーに約50人が参加。ディナー参加者は、雅楽のアトラクションに出迎えられ、夕暮れの瀬戸内海を背景に奏でられるみやびな音色に耳を傾けました。この日のために用意された特別メニューに舌鼓を打ちながら、時間を忘れ歓談しました。



世界バラ会議にちなみ、「野ばら」が演奏されました





閉会式・フェアウェルディナー

2025.5.24(土) / 18:00 - 22:00
福山ニューキャッスルホテル 3F <光耀の間>

福山大会を締めくくるディナーでは、世界のばら関係者注目の優秀庭園賞や優秀書籍賞の発表が行われました。

また、世界バラ会連合メダルの授与や新旧会長の引継ぎも行われました。最後に、福山大会から次回開催地であるインド・ポーパール市に世界バラ会連合旗を引き継ぎ、7日間にわたった大会が幕を閉じました。



◆ 優秀庭園賞

- ・ベルギー：Rose Garden Rivierenhof
- ・カナダ：Burlington Rose Garden
- ・チェコ：Olomouc Rose Garden
- ・ドイツ：Mainau Island Rose Garden
- ・日本：国営越後丘陵公園 ながおか香りのばら園
- ・日本：ローザンベリー多和田
- ・韓国：Jeonju Rose Garden
- ・ポーランド：Aflopark Rose Garden
- ・スウェーデン：Gothenburg Rose Garden

◆ 優秀書籍賞

- ・‘The Saint Clair Rose Garden’『サン・クレール・ローズガーデン』 Maurice Jay著、2023年、フランス
- ・‘Roses in the Fire of Spring’『春の炎の中のばらたち』 Viru & Girija Viraraghavan著、2023年、インド
- ・‘Rosas patrimoniales de Uruguay, Legado de generaciones’『ウルグアイのヘリテージローズ—世代を超える遺産』 Inés Díaz de Licandro著、2024年、ウルグアイ



大会に尽力した大勢の福山のばら愛好家が見つめる中、世界バラ会連合から日本ばら会と福山市へ記念メダルが贈られ、福山大会からインド・ポーパール市へ世界バラ会連合旗を引き継ぎました



◆ 市長による挨拶

Good evening, everyone. I would like to express my sincere gratitude to all of you who have come from afar to be here in our city. Throughout this convention, I was once again reminded that the rose—such a beautiful flower—has the strong power to cross borders, connect people, and inspire a shared desire for peace. It would be a great source of pride for the people of Fukuyama if this convention has met your expectations. It has also strengthened our confidence in continuing our “Community Development Based on Roses”. I would like to extend my sincere appreciation to the President of the World Federation of Rose Societies, Ms. Diane vom Berg; the Honorary President, Ms. Helga Brichet; the Chairperson of the Convention Committee, Ms. Henriette de Briey; and the Executive Director, Mr. Derek Lawrence, for choosing our city as the host for this milestone 20th Convention. My deepest thanks also go to the President of the Japan Rose Society, Ms. Yukiko Shimura, for undertaking the tremendous responsibility of this convention. A short while ago, the citizens of Fukuyama were honored by the World Federation of Rose Societies. I would like to express my sincere appreciation to all who made this possible—the Fukuyama Rose Society, the Fukuyama Rosarian Club, the Rose Owners Association, and the more than 200 volunteers. Without your cooperation, the smooth operation of this convention would not have been possible. I also wish to express my admiration to Dr. Yuki Mikanagi, Dr. Nobuo Shirasuna, and Dr. Yoshihiro Ueda, who guided us with their expertise; to the city assembly, headed by chairman Yoshinori Imaoka, who approved a generous budget for this convention; and to the staff of City Hall, whose dedication and hard work behind the scenes were essential to the success of this convention. I would like to express one more thing. The weather forecast predicted heavy rain for the welcome reception and the opening ceremony. However, it was amazingly inaccurate. So, I would like to thank the rain clouds for avoiding Fukuyama City—at least until today. In closing, I hope the knowledge and friendships you gained here in Fukuyama will lead to new opportunities and continued growth. May the next convention in Bhopal be a great success. And I look forward to the day we may meet again—perhaps here in Fukuyama. Thank you very much for being with us today, and during this convention.

(日本語訳)

皆様、こんばんは。
このたびは、世界各国から福山市へお越しください、心より感謝申し上げます。私は大会を通じて、「ばら」という美しい花が国境を越えて人と人とを結びつけ、平和への願いを共有する力を持っていることを改めて実感いたしました。もし福山大会が皆様にとって満足のいくものであったならば、それは私たち福山市民にとって大きな誇りであり、また、市民主体の「ばらのまちづくり」を今後も継続していくうえでの大きな励みとなります。
世界バラ会連合のDiane vom Berg会長、Helga Brichet名誉会長、Henriette de Briey大会開催委員長、そしてDerek Lawrence事務局長には、第20回という節目の大会の開催地に福山市をお選びいただいたことを、改めて感謝申し上げます。また、日本ばら会の志村雪子理事長には、大会責任者という重責をお引き受けいただき、深く感謝申し上げます。
先ほどは、福山市民が世界バラ会連合から表彰を受けるという、大変な名誉をいただきました。福山ばら会、福山ローザリアンクラブ、ばらオーナー会の皆様、そして200人を超えるボランティアの皆様のご協力なくしては、この大会を円滑に運営することはできませんでした。
また、専門の見地から多くのご指導をいただきました御巫由紀先生、白砂伸夫先生、上田善弘先生、そして福山大会に必要な予算を承認くださった今岡芳徳議長をはじめとする福山市議会の皆様、さらには準備段階から全力で支えてくれた市役所職員の献身にも、心からの敬意と感謝を申し上げます。
そしてもうひとつ、歓迎レセプションや開会式当日には警報級の大雨が予想されておりましたが、奇跡的に天候に恵まれました。福山市を避けてくれた雨雲—今日だけは例外だったようですが—にも、感謝したいと思います。
最後に、福山大会を通じて得られた知識と育まれた友情が、皆様の今後のさらなる発展につながることを願っています。
そして、今回の開催地・インドのポーパール大会が大成功を収めますことを、心よりお祈り申し上げます。
そしてまたいつの日か、この福山の地で皆様と再会できますことを楽しみに、感謝の言葉とさせていただきます。
本日は誠にありがとうございました。



喜多流大島能楽堂によるオープニングアクト。新作品「福山」を披露しました



ボランティアが登場すると、スタンディングオベーションで温かい労いの拍手が送られました



新品種国際コンテストで最高得点を獲得した「大会記念ばら」が発表されました



世界バラ会連合名誉会長、現会長、直前会長によって福山大会の総括が行われた後、“バッジ・オブ・ザ・オフィス”がSushil Prakash新会長に贈られました

Diane vom Berg会長やDerek Lawrence事務局長が福山大会をもって退任されるなど、世界バラ会連合にとっても大きな節目となりました





プレ・ポストツアー

プレツアー 2025.5.12(月)~5.17(土)
 ポストツアー 2025.5.25(日)~5.30(金)

世界バラ会連合優秀庭園賞を受賞したばら園をはじめ、日本各地の名だたる庭園や観光名所を、福山大会前後の期間に巡るプレ・ポストツアーを実施しました。プレツアーでは西日本を、ポストツアーでは東日本を巡る全6つのツアーに、延べ145人が参加しました。各ツアーにばらの専門ガイドが同行し、日本のばらや歴史・文化を堪能しました。

PRE-TOUR 1 世界遺産宮島のヤマイバラと瀬戸内・山陰周遊ツアー

日本固有の野生種の一つであるヤマイバラの自生地と世界遺産宮島。風光明媚な瀬戸内海の島々。日本庭園ランキング*第1位の「足立美術館」や「由志園」を巡るコース。*ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング (アメリカ)

専門ガイド 上田 善弘 博士 (世界バラ会議推進プロジェクトマネージャー)

Day1 5.12(月) 広島市集合

Day2 5.13(火) 広島県

宮島ヤマイバラ自生地、厳島神社、
宮島表参道商店街ほか

Day3 5.14(水) 広島県、愛媛県

クルーズ船「SEA SPICA」瀬戸内の多島美遊覧
よしうみバラ公園

Day4 5.15(木) 岡山県、鳥取県

倉敷美観地区、大原美術館、とっとり花回廊

Day5 5.16(金) 島根県

足立美術館、由志園

Day6 5.17(土) 広島県

福山城公園



厳島神社



クルーズ船「SEA SPICA」



足立美術館

PRE-TOUR 2 球磨川流域のツクシイバラ群生地と九州周遊ツアー

日本の固有種ツクシイバラの群生地とその保存に取り組む団体との交流、「ハウステンボス」、「海の中道海浜公園」など九州各地のばら園や阿蘇、雲仙といった自然を体験するコース。

専門ガイド 月江 成人 さん (ホルティカルチャリスト)

Day1 5.12(月) 福岡市集合

Day2 5.13(火) 福岡県、熊本県

令和オープンガーデン (吉田邸)
海の中道海浜公園、菊池溪谷

Day3 5.14(水) 熊本県

球磨川流域ツクシイバラ群生地、エコパーク水俣

Day4 5.15(木) 長崎県

仁田峠・普賢岳ミヤマキリシマ群落
グラバー園、大浦天主堂

Day5 5.16(金) 長崎県

出島、シーボルト記念館、ハウステンボス

Day6 5.17(土) 福山市へ移動



エコパーク水俣



球磨川のツクシイバラ群生地



菊池溪谷



雲仙ロープウェイ

PRE-TOUR 3 大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭、関西・四国のばら園周遊ツアー

「浜寺公園ばら庭園」、「栗林公園」など関西・四国を代表するばら園や日本庭園と、大阪・関西万博という国際的なイベントを巡るコース。

専門ガイド 平岡 誠 さん (ローズガーデンデザイナー)

Day1 5.12(月) 大阪市集合

Day2 5.13(火)

大阪・関西万博

Day3 5.14(水) 大阪府、兵庫県

浜寺公園ばら庭園
デビッド・オースチンのイングリッシュローズガーデン
神戸湾ディナークルーズ

Day4 5.15(木) 兵庫県、岡山県

神戸市立森林植物園、瀬戸内国際芸術祭 (犬島)

Day5 5.16(金) 香川県

栗林公園、高松盆栽の匠

Day6 5.17(土) 愛媛県

よしみバラ公園



神戸市立森林植物園



浜寺公園ばら庭園



デビッド・オースチンのイングリッシュローズガーデン



神戸
ハーバーランドの夜景



大阪・関西万博



POST-TOUR 1 古都京都巡りと滋賀・岐阜のばら園周遊ツアー

古都京都の東山や嵐山・嵯峨野をはじめ、イングリッシュガーデンを中心とした個性あふれる「ローザンベリー多和田」と世界バラ会連合優秀庭園賞を受賞した「ぎふワールド・ローズガーデン」を巡るコース。

専門ガイド 白砂 伸夫 博士 (神戸国際大学名誉教授) / 上田 善弘 博士 (世界バラ会議推進プロジェクトマネージャー)

Day1 5.25(日) 京都府

南禅寺、京都府立植物園、花見小路

Day2 5.26(月) 京都府

二条城、金閣寺 ほか

Day3 5.27(火) 京都府

京都御所、大覚寺、嵐山 ほか

Day4 5.28(水) 滋賀県、岐阜県

ローザンベリー多和田、長良川鶴飼遊覧

Day5 5.29(木) 岐阜県

ぎふワールド・ローズガーデン

Day6 5.30(金) 愛知県

有楽苑、犬山城



金地院



ぎふワールド・ローズガーデン



金閣寺



ぎふワールド・ローズガーデン



ローザンベリー多和田 ローザン鉄道ミルキーウェイ



犬山城

POST-TOUR 2 越後・北関東のばら園周遊ツアー

世界でも珍しい香りをテーマにしたばら園がある「国営越後丘陵公園」、12haの広大な敷地にローズガーデンが広がる「中之条ガーデンズ」、約600品種・7,000本のばらがある「敷島公園門倉テクノばら園」などを巡るコース。

専門ガイド 御巫 由紀 博士（千葉県立中央博物館展示課長）

Day1 5.25(日) 新潟県

北方文化博物館

Day2 5.26(月) 新潟県

国営越後丘陵公園 ながおか香りのばら園
湯沢高原パノラマパーク

Day3 5.27(火) 群馬県

中之条ガーデンズ、敷島公園門倉テクノばら園

Day4 5.28(水) 埼玉県、茨城県

大宮盆栽美術館、バラの家、坂野ガーデン

Day5 5.29(木) 茨城県、千葉県

いばらきフラワーパーク、佐倉草ぶえの丘バラ園

Day6 5.30(金) 成田市解散



敷島公園門倉テクノばら園



国営越後丘陵公園ながおか香りのばら園



中之条ガーデンズ



いばらきフラワーパーク プーケ作り体験



大宮盆栽美術館



POST-TOUR 3 世界バラ会連合優秀庭園賞ばら園周遊ツアー

世界バラ会連合優秀庭園賞受賞の「アカオフォレスト」、「横浜イングリッシュガーデン」、「神代植物公園」、「京成バラ園」及び「佐倉草ぶえの丘バラ園」に加え、日本固有種のサンショウバラが楽しめる箱根などを巡り、日本ばら会や現地ばら会との交流を行うコース。

専門ガイド 村田 みゆき さん（日本ばら会会員）

Day1 5.25(日) 静岡県

アカオフォレスト

Day2 5.26(月) 静岡県、神奈川県

十国峠、箱根ロープウェイ（大涌谷）
箱根湿生花園 ほか

Day3 5.27(火) 神奈川県

花菜ガーデン、横浜イングリッシュガーデン
横浜ガーデンネックレス（山下公園ほか）

Day4 5.28(水) 東京都

浅草寺、神代植物公園

Day5 5.29(木) 千葉県

京成バラ園、佐倉草ぶえの丘バラ園

Day6 5.30(金) 成田市解散



浅草寺



横浜ガーデンネックレス



横浜イングリッシュガーデン



神代植物公園で日本ばら会の皆さんと交流



アカオフォレスト





まちを彩る装飾

ばらのまち福山の特徴は、生花の美しさもさることながら、あらゆる場所にばらのデザインが溶け込んでいることです。大会参加者へのおもてなしの心を表すため、福山駅北口スクエアに、福山城・ばらとともに写真撮影ができるようFUKUYAMAの文字を象ったモニュメントを設置しました。また、JR福山駅南口には市民が育成に携わったオペリスクプランターやイルミネーションツリーなど、満開のばらが大会参加者を出迎えました。



タカオ株式会社提供の大会特別仕様のイルミネーションツリー。ツリーの中にはばらが敷き詰められ、歴代開催地の国旗も表示されています



ばらのフォトスポットのひとつ。いつもの待ち合わせ場所(五浦釣人像)も華やかな雰囲気に



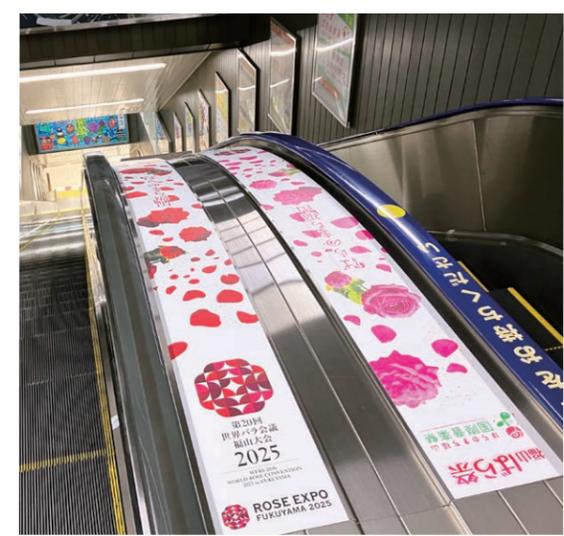
新幹線コンコース内の近畿大学附属広島高等学校・中学校福山校の生徒によるモザイクアート。福山城とばらを合わせてPR



ニコライ・バーグマンさんデザインのラッピングバス。2022年2月から福山のまちを走り、大会開催をPRしました



100日前からは、JR福山駅改札前のさんすて福山にRose Expoの装飾がお目見え



JR福山駅内のエスカレーターやベンチなどで駅利用者にPR。5月が一番美しい、ばらのまち福山の魅力を発信



Rose Expoへ誘客するのぼりで商店街がPR



福山通運株式会社やヤマト運輸株式会社の配送トラックにPRステッカーを貼付



バナーフラッグを福山市中心部に設置



ポスターやチラシで福山大会をPR



懸垂幕で道行く人にPR



応援宣言を行った各地のばら園や企業敷地にはためくのぼり旗

第58回福山ばら祭2025 関連行事

2025.5.17(土)～5.18(日)／10:00～17:00(緑町公園ぶちうま広場は20:00まで)
JR福山駅周辺・中心部商店街・中央公園・ばら公園・花園公園・緑町公園

ばらのまち福山最大のイベント「福山ばら祭」には、2日間で50万人以上が来場しました。Rose Expoの開催に合わせ、特別に屋外でのイベントの開催時間を例年よりも延長しました。

スペシャルゲストによるライブステージや郷土色あふれるグルメ、夜空にローズランタンが幻想的に舞う演出など、見頃をむかえたばらとともに多くの人の記憶に残るイベントとなりました。



◆ ローズパレード

5.18(日)
妙法寺前交差点～緑町公園

ローズパレードには38団体約1,700人の参加がありました。世界バラ会連合の役員やばらサミット参加者も登場し、一緒にパレードを盛り上げました。



西日本最大級を誇る大道芸フェスティバル「ふくやま大道芸2025」が商店街の各所で開催され、街じゅうが賑わいました



ばらのまち福山国際音楽祭2025 関連行事

2025.5.22(木)～5.25(日)
ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ)・神辺文化会館・沼隈サンパル・西部市民センター・新市交流館・ふくやま美術館

国内外の音楽家の演奏を鑑賞できるクラシック音楽の祭典「ばらのまち福山国際音楽祭2025」は、「ばら」をテーマに全26公演を行い、1万人以上が来場しました。

福山初公演の「ウィーン・ヨハン・シュトラウス・ヴィルトゥオーゾ」やこの音楽祭のためだけに結成された「ローズ・ストリング・アンサンブル」によるコンサートなど、市内各地で多彩なプログラムを実施しました。

5月18日からの4日間は「世界バラ会議開催記念スペシャルコンサート」として、ばら公園や緑町公園の満開のばらの中でコンサートを開催しました。



国内外の豪華アーティストによる匠巻のステージが観客を魅了

◆ ウィーンの室内オーケストラによるコンサート



ふくやま祝祭管弦楽団・合唱団・邦楽団も演奏を披露

◆ 世界バラ会議開催記念スペシャルコンサート





◆ 第34回ばら制定都市会議 (ばらサミットin福山) 関連行事

2025.5.18 (日)～5.19 (月)
ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ)ほか

ばら制定都市会議(ばらサミット)には、「ばら」を市町村の花として制定するなど、ばらが広く住民に愛されている29の自治体が加盟しています。ばらの普及や知識の向上を図り、花と緑にあふれるまちづくりを推進するため、毎年会議を開催しています。

5月18日、19日に、世界バラ会議福山大会に合わせて第34回ばら制定都市会議を開催し、参加自治体が事例発表による情報交換を行うとともに、今後も力を合わせて花と緑にあふれるまちづくりを進めることを誓いました。



今回のばら制定都市会議では、加盟自治体の首長や職員が「福山ばら祭」のローズパレードへ参加しました。さらに福山大会の歓迎レセプションや開会式にも参加し、世界中のばらの愛好家が集う貴重な機会をばら愛する自治体の皆様と共有することができました

第34回ばら制定都市会議「福山宣言」

戦後80年の節目の本年、復興と平和の象徴としてばらのまちづくりを進めてきた福山市に全国のばら愛する都市が集い、「第34回ばら制定都市会議」が開催されました。

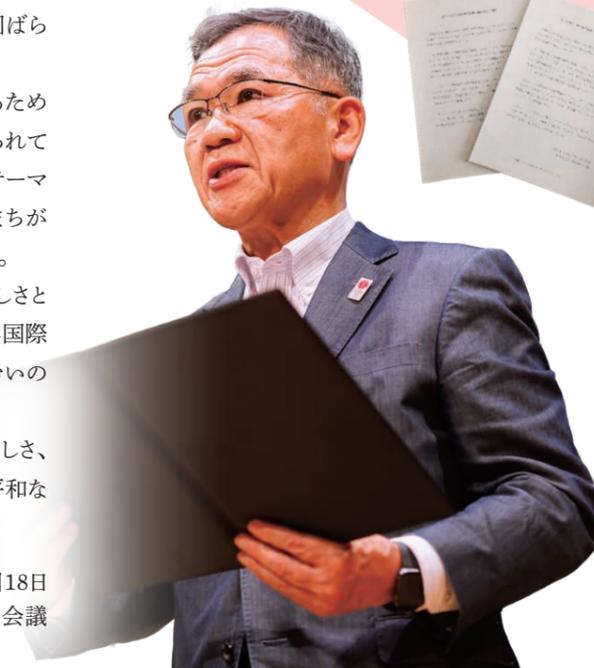
今、世界は様々な困難や課題に直面しており、これを克服するためにも人と人が互いを理解し、つながりを深めることが一層求められています。現在開催されている「第20回世界バラ会議福山大会」のテーマ“Roses for the Future”も、「ばら」を通じて人と人、まちとまちがつながった、輝き続ける持続可能な社会の実現を願うものです。

ここに、ばら制定都市会議加盟都市一同は、「ばら」の持つ優しさとしなやかな力を信じ、互いに力を合わせ、来るべき「2027年横浜国際園芸博覧会」の開催に向けて、今後も、花と緑にあふれるうらおいのあるまちづくりを推進します。

そして、ここ「ばらのまち福山」からローズマインド(思いやり、やさしさ、助け合いの心)の精神を世界に向けて発信し、『ばらが咲き誇る平和な未来』を希求することを宣言いたします。

2025年(令和7年)5月18日
第34回ばら制定都市会議

「福山宣言」には
ばらの剪定枝から作られた
紙を使用しました



山手町はね踊り保存会によるウェルカムパフォーマンス



会議では参加自治体が事例発表を行いました。また、2026年度開催地が長野県中野市に決定しました

◆ 記念植樹



加盟自治体が提供した24本のばら苗をリーデンローズ前の花壇に植樹

